

# 祈りの友 第210号

2026年11月

「天のビジョンに従う」

児童伝道者への神のご計画を理解する

## 第5章

主よ、ここにおります。

私を遣わしてください。



サム・ドハティ  
「…私は天からの幻に背かず  
…」使徒の働き 26章19節

クリスチャンの奉仕の第一歩はビジョンです。神さまが私たちの目を開いて、神ご自身についてもっと深く理解し、子どもたちをもっと深く理解して、伝えるべきメッセージについてもっと深く理解できるよう、助けてくださることを信じています。

## 私たちの責任へのビジョン

しかし、それだけでは十分ではありません。

神は私たちに「第四のビジョン」をお持ちです。そしてこのビジョンは、絶対に欠かすことができません。それは私たちの、自分自身と自分の責任についてのビジョンです。神さまが私たちに何をさせたいと思っておられるのかを見ることがです。

- ▶神は私たちにご自身に仕えることを望んでおられます。
- ▶神は私たち一人ひとりに、奉仕の中で果たすべき働きと場所を備えておられます。
- ▶神は私たちが、ビジョンと理解と導きを求めて祈ることを望んでおられます。

## パウロの奉仕に対するビジョン

ダマスコ途上で、パウロは主イエス・キリストを見ました。そしてその後、彼は異邦人の霊的な必要を見ました。神が、彼の宣べ伝えることばを通して「彼らの目を開かれる」ことを理解したのです。そして第四のビジョンが与えられました。神は、パウロの奉仕が異邦人に向けられたものであること、そして今まさにその奉仕へと彼を召しておられることを、はっきりと示されたのです。（使徒の働き 26章17節）

これは革命的なことでした。これまで誰もこのようなことをしたことがありません。パウロは「ヘブル人の中のヘブル人」でした。それにもかかわらず、ユダヤ人が通常かかわりを持たない人々―異邦人―を福音によって導くために遣わされていたのです。神はときに、ご自身のしもべたちを、まったく予想外で、革命的ともいえる道へと導かれることがあります。ビジョンのない奉仕は、ただの苦役になってしまいます。ビジョンのない奉仕は、時間の浪費にもなり得ます。

ですから、クリスチャン―特に若いクリスチャン―が理解すべき大切なこと、それは、私たちが何をすべきか、どこへ行くべきか、どのように神に仕えるべきかを決めるのは私たち自身ではなく、神であるということです。そのために、まず最初に、神の働きに踏み出す前に、理解を、導きを、そしてビジョンを求めて神に祈ることが必要なのです。

## すべての奉仕はビジョンから始まる

神がしもべたちに与えられた多くの「ビジョン」は、聖書の中でも教会史の中でも、まったく不可能に思えるものでした。

しかし神は、しもべたちの前に“人間には不可能”と思えることを置かれることを喜ばれるようです。それは、そのビジョンが実現したとき、すべての栄光が神に帰されるためです。このようなビジョンは、宣教師や牧師、フルタイムの働き人だけのものではありません。イエス・キリストに仕えるすべての者に、ビジョンが必要です。そうでなければ、何をすべきか、どこで仕えるべきかが分からないからです。日曜学校やグッドニュースクラブで教える年配の方も、夏の戸外活動で子どもたちに仕える若い宣教者も、祈る人も、献げる人も、みなビジョンを必要としています。私たちは皆、神が私たちに何をしてほしいのか、そしてどこでそれを行うべきなのかを知る必要があるのです。

### 著者自身の証し

妻と私は、1949年の終わり頃、それぞれ22歳と21歳のときに、主イエス・キリストを救い主として信じました。私たちは二人とも、自由主義的なプロテスタント教会で育ち、福音についての背景もなく、聖書の理解もほとんどありませんでした。そんな私たちを導いてくれたのは、宣教地に行く準備をしていた若い夫婦、フレッドとアイナ・オーアでした。彼らは私たちに個人的に関わり、キリストへと導いてくれました。私たちの霊的な父であるフレッドは、私たちが救われたときにこう言いました。「あなたが救われた今、神さまはあなたに備えておられる働きがあります。だから、その働きが何であるかを神に尋ねなければなりません。」

私は当時、ラグビー選手で、国内でも有数の強豪チームの一員でした。私は自分が他のラグビー選手やスポーツ選手に伝道している姿を思い描くことはできませんでした。しかし、それは神のビジョンではありませんでした。私たちが祈り続け

る中で、1950年の初め頃から、神は少しずつ、段階を追って、さまざまな方法で示してくださいました。私たちの働きは子どもたちのためであり、彼らに福音を伝えることなのだと。それは、自分では決して選ばなかった働きでした。しかし、それは神の選びでした。そして今振り返れば、もちろんそれが最善の選びだったのです。これは私たちに対する神のビジョンでした。

救われて間もない私たちは、児童伝道への召しについて、スコットランドの聖書学校にいたフレッドとアイナに手紙で尋ねました。「それはどういう意味ですか」「どのように伝道するのですか」「何から始めればいいですか」。やがて私たちは学ぶことになります。神が召されるとき、神がビジョンを与えられるとき、神は必要なすべてを備えてくださるということ。

私がフレッドに手紙を送った翌日、ちょうどその聖書学校に、CEFの宣教師がメッセージをしに来ました。昼食の席で、彼は偶然フレッドの隣に座りました。彼がフレッドの出身がアイルランドだと知ると、こう話したのです。「神がアイルランドの子どもたちのために重荷を与えておられます。ぜひアイルランドでCEFの働きが始まるのを見たいのです。子どもたちへの福音伝道に関心のある人をアイルランドで知りませんか。」そこでフレッドは、私たちの手紙を彼に見せました。

数週間後、その宣教師が私たちを訪ねて来てCEFの働きを説明してくれました。話を聞きながら、私たちは「これが神の導きだ」と確信し、アイルランドでCEFの働きを始める決心をしました。私たちは救われてまだ数か月で、聖書学校に通ったことも、訓練コースに参加したこともなく、聖句や賛美もほとんど知りませんでした。しかし、神さまが私たちを児童伝道へと導き、アイルランドでCEFの働きを始める

よう願っておられることだけは確信できました。これが神のビジョンであり、私たちは生涯子どもたちの間で神に仕えるのだとわかったのです。

こうして、私たちは アイルランド CEF の総主事に任命されました！これが、この後、アイルランドで力を尽くしてこの働きを一步步進めていく、神さまの祝福と恵みに支えられた 14 年間の始まりでした。その期間、特に初期には失敗ばかりでしたが、神さまはこの働きを恵みのうちに導き、祝福してくださいました。そして今日、何十年も経った今、アイルランド CEF は世界でも最も力強い CEF の働きの一つとなっています。

1964 年、私たちはヨーロッパ CEF の地区主事として奉仕するよう招かれました。アイルランドだけではなくヨーロッパ CEF 全体を担当する初めての地区主事となることになったのです。多くのためらいがあり、恐れと震えを覚えながらも、私たちはこの招きを受け入れました。神のことば一特にヨシュア記 1 章 12-16 節を読む中で、これが神のビジョンの次のステップであると確信したからです。そこで私たちは、アイルランドでの働きの責任を後継者に引き継ぎました。そして彼らの指導のもとで、神はその働きを大いに祝福し、拡大してくださいました。

その後の 29 年間、神はヨーロッパ CEF の働きを特別な方法で祝福されました。スタッフ・訓練・施設・印刷・宣教の働きが大きく発展し、共産圏にも福音が広がった結果、多くの子どもたちが救われました。すべての栄光を神さまにお返しします。

私たちは、神がビジョンを与えられるとき、そのビジョンが実現するために必要なすべてを備えてくださる、という大切な教訓を学び続けていました。

1993 年、私が 66 歳になったとき、ヨー

ロッパ CEF の指導と責任を若いリーダーたちに引き継ぐ時が来たと感じ、1 年の準備期間を経て、指導者の交代を完了しました。

その時、私たちは祈りました。残された奉仕の年月のために、神がまたビジョンを与えてくださいますようにと。私たちは、引き続きフルタイムで CEF の働きにとどまるべきだと確信していましたが、具体的に何をすべきかはまだはっきりしていませんでした。しかし神は、恵みのうちに、三度目となるビジョンを与えてくださいました。それは、世界中の子どもたちの働き人たちの助けとなるように、書籍を執筆し、印刷し、無料で配布することでした。残された年月をこの働きに献げるべきだと、私たちは理解しました。神はこの新しい働きを豊かに祝福して下さり、経済的必要はすべて備えられ、さまざまな面で助けてくださいました。さらに、これらの書籍が送られた 110 か国の多くの働き人たちから届く感謝の手紙が、私たちに大きな励ましを与えてくれました。

**神は私たちにビジョンを与えたいと願っておられます**

私たちは、神さまが私たちを自分の力だけで道を探させることなく、導いてくださるお方であることを心から感謝しています。

愛する読者の皆さん、どうか目標も目的もなく、ただ何となく人生を歩むことのないようにしてください。神が望んでおられることに目を向けず、うつむいて地面ばかり見つめて生きることのないようにしてください。神がビジョンを与えてくださるとき、すべてが変わります。そこには、心から取り組むことのできる目標と目的が生まれ、真の満たしを見いだすことができるからです。

そして、もし神があなたにビジョンを与えてくださったなら、それを決して忘れず、離れず、失わないでください。私は、あなたも私も、決してビジョンを失わないことを願っています。ビジョンを失うことは、私たちにとっても、子どもたちにとっても悲劇だからです。

## 祈り

今少し、手を止めて祈ってみませんか。「愛する神さま、どうか私の目を開き、あなたが私に何を、どこですよう望んでおられるのか、そのことをはっきり見えるよう助けてください。そして神さま、どうかそれを実行できるよう助けてください。」

そして、これが次の章のテーマとなります。  
(C E F 書籍ミニストーリー創設者・1997 年著)



## 2026 年 CPC セミナー

今年の教材では、ローマ皇帝の勅令さえ用いて救い主誕生を成就された神さまを学びます。三つの場面を通して、神さまが一年中「大きな喜びの良い知らせ」を与えてくださることを子どもたちに伝えましょう。

### セミナーのご案内

日時 11 月 19 日 (木) 14 : 00-16 : 00

場所 沖縄共生エルシオン教会

セミナーも残すところ沖縄のみとなりましたが、今年行われたセミナー動画で受講することもできます。

ご希望の方は本部までご連絡ください。

すべての子どもたちの救いのために祈ろう！

**CEF 世界祈祷日 11 月 4 日(水)**

**24 時間連鎖祈祷**

## TCE 2 集中コース開催のお知らせ

救われた子どもを霊的成長へ導くための基礎を学ぶクラスです。レベル 1 で子どもを救いに導き、クラス運営を学んだ後、どのように子どもたちをキリストの弟子として育てていくかを具体的に学びます。受講には、TCE レベル 1 の修了証書と 5 つの実習の完了が必要です。

日時：2027 年 5 月 3 日(月)ー7 日(金)

### C E F は働き人を募集しています。

日本 C E F では、子ども伝道に重荷を持っておられる働き人を募集しています。子どもたちに福音を伝える働きに、共に仕えてくださる方をお待ちしています。詳細はホームページをご確認ください。下の QR コードからご覧いただけます。



### 日本 C E F (日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031

Email : [japancef@cef.or.jp](mailto:japancef@cef.or.jp)

WEB : <https://www.cefjapan.com>

ゆうちょ銀行口座：00160-1-59313

他金融機関から：

〇一九(ぜいけい)店 (019) 当座 0059313